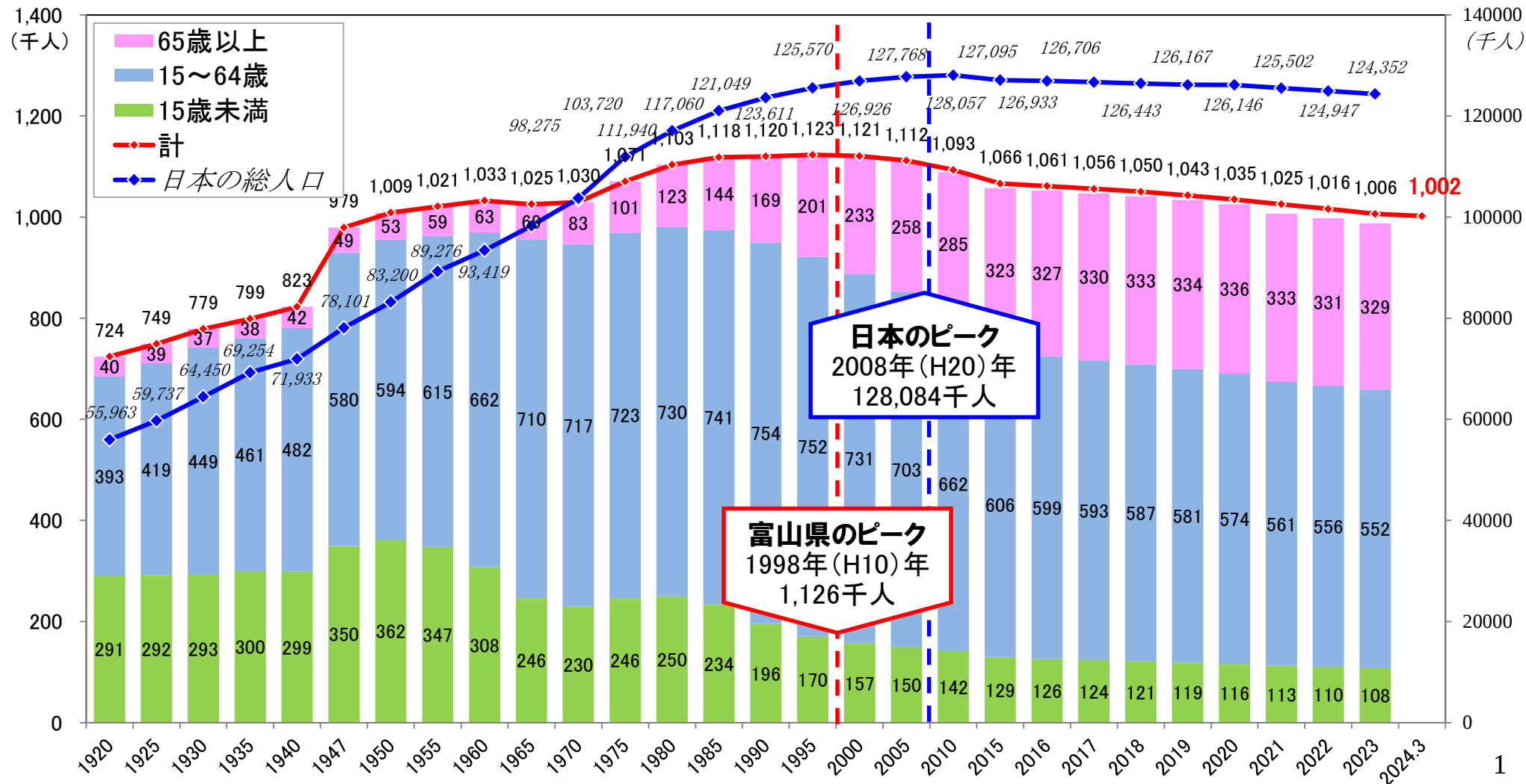


我が国と富山県のこれまでの人口推移

資料1

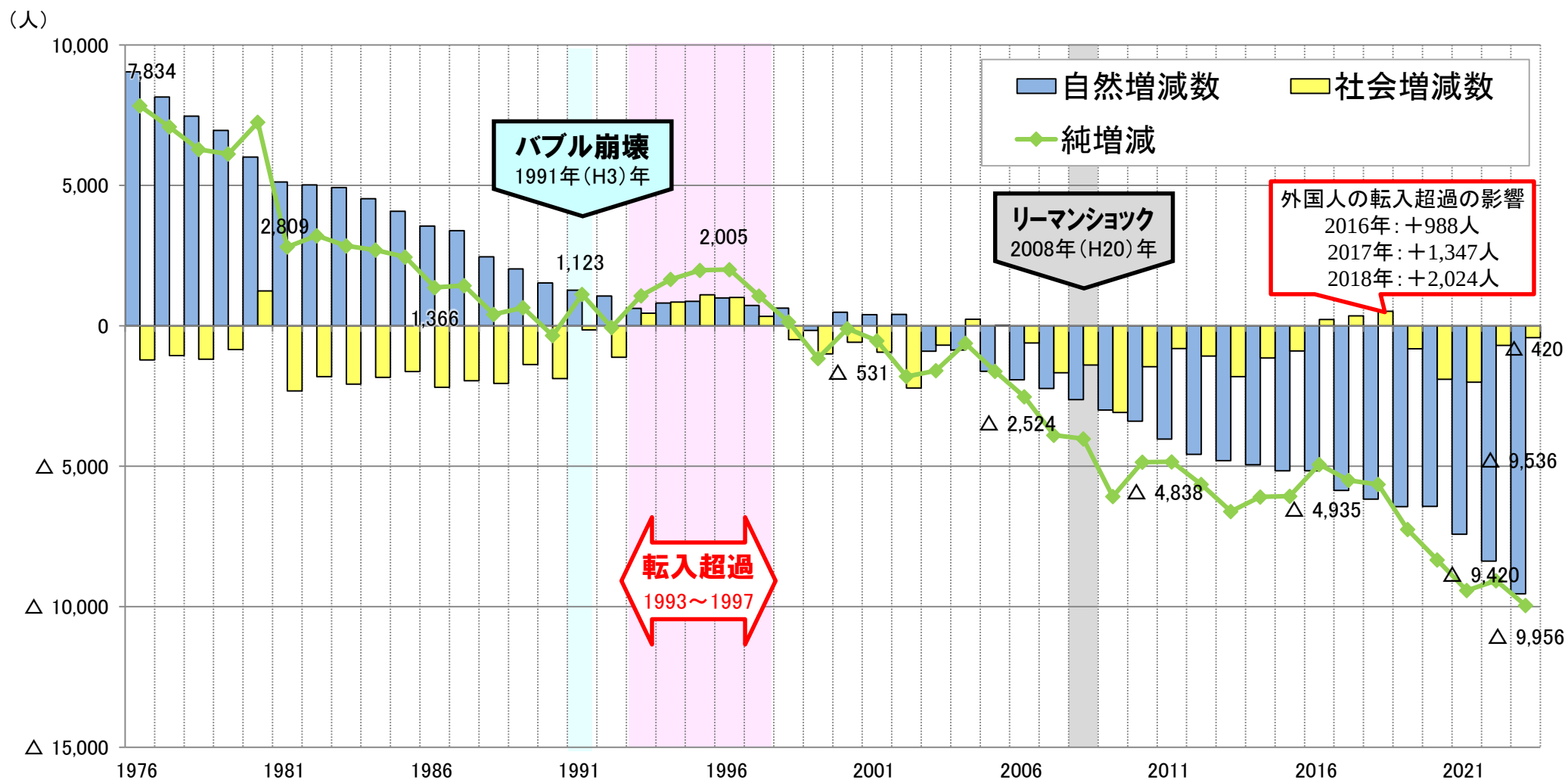
- ・ 富山県の人口は、全国より 10年早い 1998（H10）年をピークに減少に転じる
- ・ 年齢3区分別の人口構成をみると、65歳以上が拡大する一方、15歳未満は減少が続いており、人口構成が変化



（出典）総務省統計局「人口推計」、富山県「人口移動調査」（いずれも各年10月1日現在）※2024.3は3.1現在

富山県の人口動態（自然動態＋社会動態）の推移

- ・ 自然動態（出生－死亡）は、マイナス幅が増加傾向
- ・ 社会動態（転入－転出）は、外国人の移動増加などにより、マイナス幅が縮減するも、2019（R元）年以降は マイナスが続いている状況



富山県人口の推移と未来へのビジョン ～2060年に総人口80.6万人をめざす～

富山県人口ビジョン

自然動態

▶ 合計特殊出生率の上昇

2030年 県民希望出生率 1.9 を達成

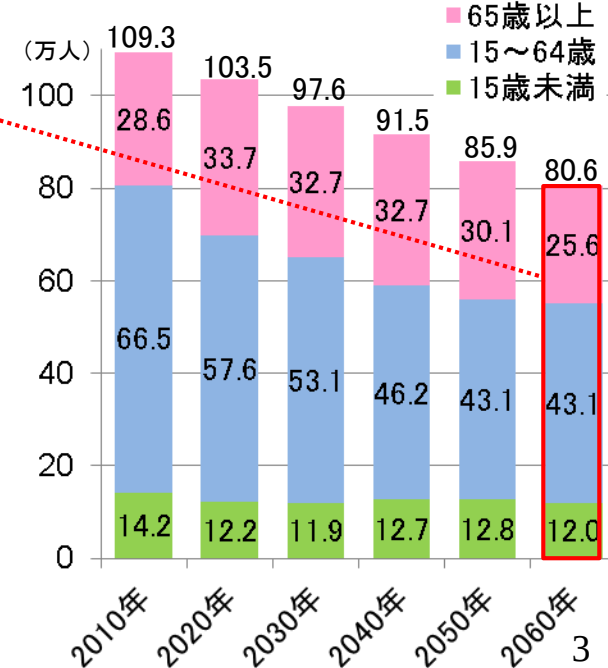
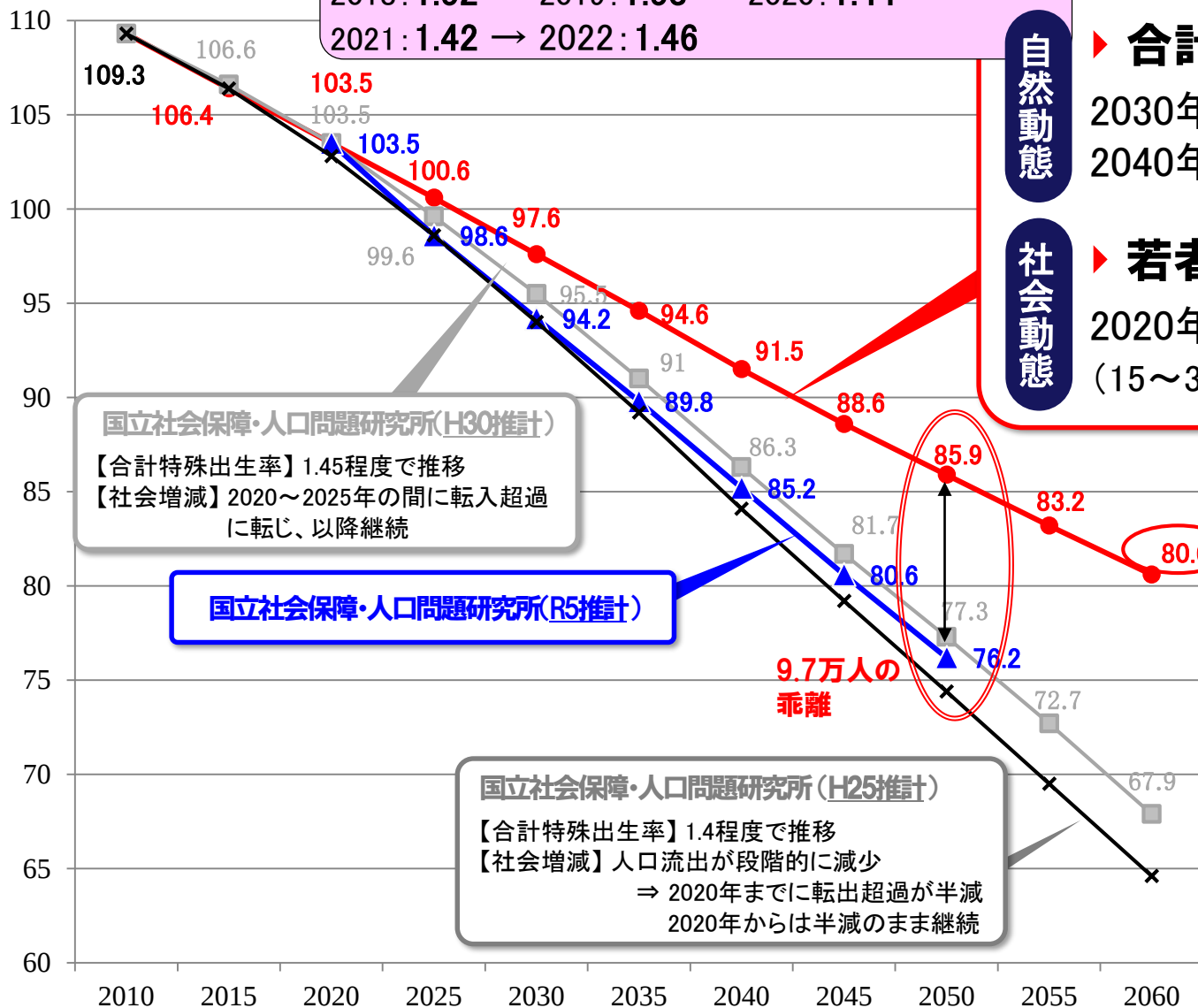
2040年 人口置換水準 2.07 を達成

社会動態

▶ 若者の転出抑制と転入促進

2020年 若者世代の移動均衡を達成
(15～34歳の1,550人の転出超過を改善)

2006～07: 1.34 → 2016: 1.50 → 2017: 1.55 →
2018: 1.52 → 2019: 1.53 → 2020: 1.44 →
2021: 1.42 → 2022: 1.46



コンセプト

人口減少を克服し、自然、文化、産業など特色・強みを活かし持続可能で活力ある未来の創造

第2期 とやま未来 創生戦略

- ・ まち・ひと・しごと創生法に基づき策定した、本県の実情に応じた地方創生についての基本的な計画。
- ・ 地方創生関係交付金（デジタル田園都市国家構想交付金）の申請に必要となる。

計画期間

5年間（令和2年度～令和6年度）

〔第1期戦略：H27～R1（5年間）〕

人口減少**自体**への対応

- ・ 希望出生率と現状のギャップ
- ・ 晩婚化と未婚化の進行

- ・ 若者、女性の転出超過
- ・ 産業経済の活性化の必要性

基本目標 1

結婚・出産・子育ての
願いが叶う環境整備

自然減の歯止め

基本目標 2

産業振興、若者等の
雇用創出、観光振興、
県内への移住促進

社会増への転換

人口減少**社会**への適応

- ・ 生産年齢人口の大幅な減少
- ・ 生産性向上の必要性

- ・ 地域コミュニティの弱体化
- ・ 人口減少による様々な影響

基本目標 3

若者・女性・高齢者
など多様な人材の確保
と労働生産性の向上

労働力不足への対応

基本目標 4

活力あるまち・健や
かな暮らし・未来を
担う人づくり

地域の総合力アップ

1 とやま未来創生戦略の概要(体系)

R5.10.18 とやま未来創造県民会議資料(抜粋)

区分	基本目標	具体的な施策
人口減少自体への対応	基本目標1 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備	1 結婚から子育てまで切れ目のない支援による 少子化対策 の推進 2 働き方改革を通じたゆとりある生活の実現による 少子化対策 の推進
	基本目標2 産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進	1 産業・地域経済の活性化 2 若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある 地域づくり 3 観光の振興 4 移住・定住 の環境づくり、 関係人口 の創出・拡大等
人口減少社会への適応	基本目標3 若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上	1 若者や女性 が輝いて働ける環境づくり 2 高齢者等 が能力を発揮して活躍できる社会の実現 3 外国人材活躍 の促進と多文化共生の地域づくり 4 多様な人材の確保・育成と 労働生産性の向上
	基本目標4 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり	1 交通ネットワーク 整備と活力ある まちづくり 2 人生100年時代を見据えた 人づくり 3 持続可能で安心して暮らせる 地域の環境づくり 4 豊かで魅力ある 中山間地域 の実現